

防水・防塵規格

保護構造記号

保護特性記号「IP」(International Protection)の後に、第1・第2記号をつけて表します。

《例》 IP □ □
第1記号 第2記号

第1記号	保護形式1：人体及び固形異物に対する保護	
	保護の程度	旧表現
0	特に考慮されていない。	開放型 Open type
1	人体の表面積が大きい部分、例えば人の手などが誤って内部の充電部や可動部に接触する恐れがない。 直径50mmを超える固形物体が内部に侵入しない。	保護型 Protected type
2	指先または長さが80mmを超えない指先類似物が内部の充電部に接触する恐れがない。 直径12mmを超える固形物体が内部に侵入しない。	しゃへい型 Screen protected type
3	直径または厚さが2.5mmを超える工具やワイヤなどの固形物体の先端が内部に侵入しない。	
4	直径の先または厚さが1.0mmを超えるワイヤや鋼帯などの固形物体端が内部に侵入しない。	閉鎖型 Enclosed type
5	粉じんが内部に侵入することを防止する。若干の粉じんの浸入があっても、正常な運転を阻害しない。	防じん型 Dust-proof type
6	粉じんが内部に侵入しない。	耐じん型 Dust-tight type
X	特定しない時の記号(第2記号だけを表す時 例、IPX4)	

第2記号	保護形式2：水の浸入に対する保護	
	保護の程度	旧表現
0	特に考慮されていない。	
1	鉛直に落下する水滴によって有害な影響を受けない。	
2	鉛直から15°以内の方向から落下する水滴によって有害な影響を受けない。	防滴型 Drip-proof type
3	鉛直から60°以内からの降雨によって有害な影響を受けない。	防雨型 Spray-proof type
4	いかなる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を受けない。	防まつ型 Splash-proof type
5	いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない。	防噴流型 Waterjet-proof type
6	いかなる方向からの強い水の直接噴流によっても水が浸入しない。	耐水型 Deckwater tight type
7	規定の圧力・時間で水中に没しても水が浸入しない。	耐浸型 Immersion-proof type
8	常時水中に没して使用できる。	水中型 Submersible type
X	特定しない時の記号(第1記号だけを表す時 例、IP5X)	

注．英文名は、英語使用国によっても使い方が異なる場合があります、注意を要する。

関連規格：IEC 529 (International Electrotechnical Commission/国際)
 DIN 40050 (Deutsches Institut für Normung/西ドイツ)
 JEM 1030 (日本電機工業会規格)